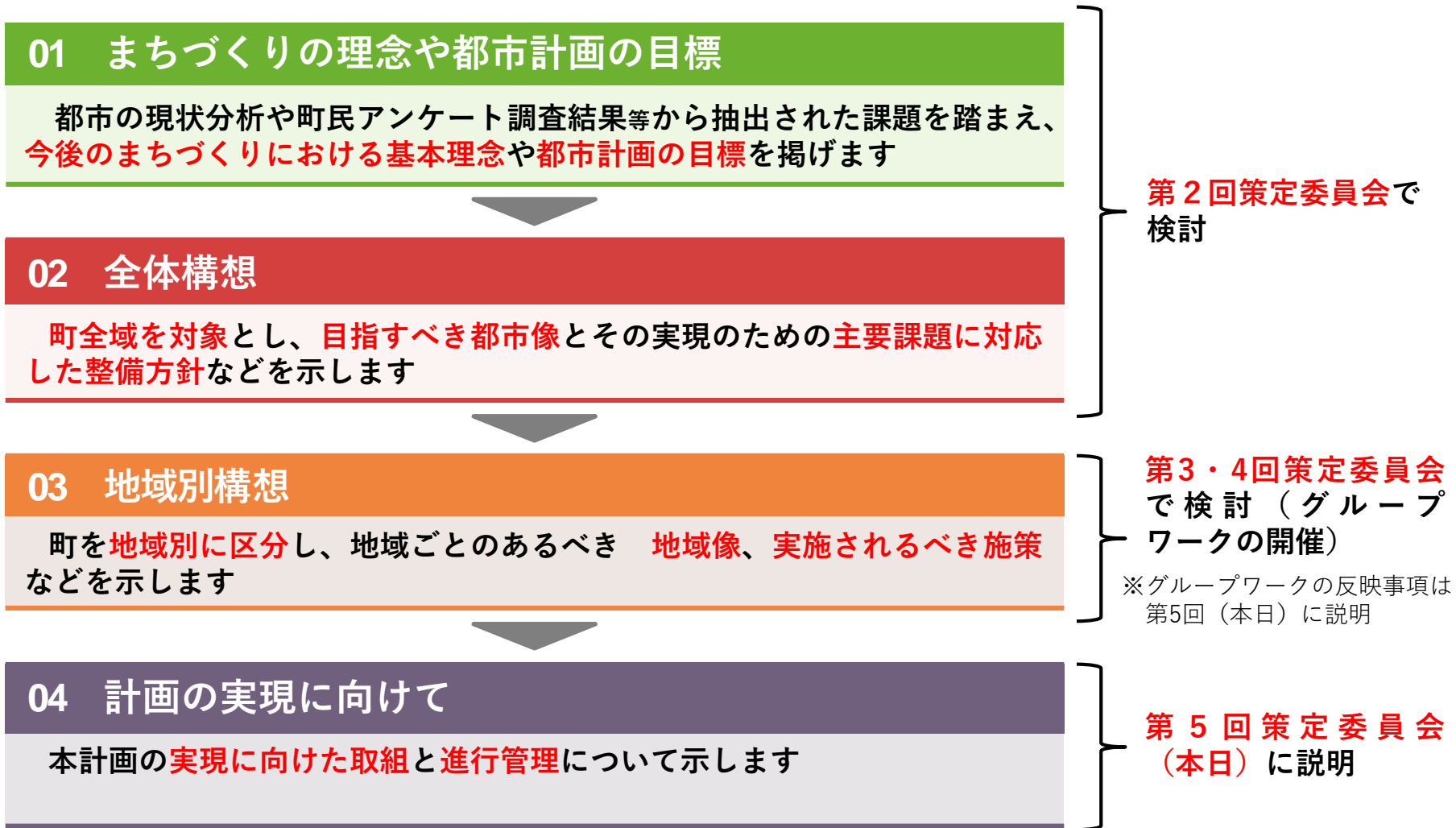


# 1. 都市計画マスタープラン（素案）について

---

- ▶ これまでの策定委員会において、都市計画マスタープランについて検討されてきた内容を踏まえ、素案を作成



# 地域別構想について

## 地域づくりの目標

賑わいと自然に囲まれた“ふつう”に暮らせるまち



## グループワークの主な意見

## 都市計画マスタープランの記載内容

久万地域は“ふつう”の暮ら  
しができる環境と自然  
環境のバランスの取れた  
地域である

『地域づくりの目標』に反映 P.67

歩いて楽しめるまちなか  
づくりとして、歩行空間  
の整備等を官民連携で進  
めていく必要がある

- ② 都市施設等の方針 1) 交通施設 P.68
- 自転車・歩行者空間
  - ・久万街道については、道路改修や社会無電柱化の検討及び実験の実施など、商店街と連携した賑わい創出施策を推進します

周辺地域の自然の豊かさ  
を活かした取組を積極的  
に行い、久万高原町の魅  
力を向上する

- ④ 自然的環境保全・活用の方針 P.71
- 自然環境等を活用したレクリエーション空間の整備
  - ・久万高原ふるさと旅行村周辺及び古岩屋荘周辺については、自然・文化交流拠点として位置づけ、町内外や多世代による交流活動を促すレクリエーションの場として、また森林や自然の癒しの力を利用した森林セラピーの場としての形成を図ります。

## 地域づくりの目標

### 清流とやすらぎのさと



## グループワークの主な意見

## 都市計画マスタープランの記載内容

環境保全を行うことにより仁淀川の清流を守るとともに面河溪を活用した観光施策を重点的に取り組むべき

② 都市施設等の方針 3) その他の施設 P.79  
・エコツーリズム及び交流の拠点となる施設として、(仮称)面河アウトドアセンターの整備・運営を検討します。

面河ダム等にあるキャンプ場や道路、トイレ等の整備による利便性・快適性向上を図る

④ 自然的環境保全・活用の方針 P.80  
● 優れた自然環境の保全  
・面河ダムについては、適切な維持管理を図るとともに、休憩所やコテージ、トイレ等のダム湖周辺的环境整備を推進します。

地域で活動する様々な団体が連携し、今後のまちづくりを進めていくべき

『実現化方策』で記載 P.104

## 地域づくりの目標

### 自然と文化が調和するさと



## グループワークの主な意見

## 都市計画マスタープランの記載内容

世界に誇る上黒岩岩陰遺跡の周辺整備や道の駅みかわとの連携の推進

② 都市施設等の方針 1) 交通施設 P.87  
● 自転車・歩行者空間  
・道の駅みかわから上黒岩岩陰遺跡までのルートについては、安全で快適な歩行者空間を形成するため、歩道の整備を検討します。

美川スキー場跡地や御三戸周辺等をキャンプ場として活用したい

② 都市施設等の方針 3) その他の施設 P.88  
・用途廃止など、本来の役目を終えた公共施設については、建物の利活用や除却、跡地活用など、地域の状況に合わせた活用方法について検討します。

公共交通空白地における交通利便性向上や個別で実施されている買い物支援等のスムーズな運行が必要

② 都市施設等の方針 1) 交通施設 P.87  
● 公共交通機関  
・公共交通空白地については、公共交通空白地有償運送の継続など、地域運営協議会等と連携した取組・支援を推進するとともに、対象地域の拡大や運送ルートの拡充等について検討します。

## 地域づくりの目標

### 人と自然がひとつとなった活力のあるさと



## グループワークの主な意見

ガソリンスタンドやATMなど、**支所や小学校周辺を中心にライフラインを維持**していくべき

四国カルスト周辺の渋滞問題（道路）など、**ハード面での対応**をまず行うべき

柳谷には3つの大字があるが、順次、地域運営協議会が立ち上がっているため、行政と連携し、公共交通空白地対策も含め、**地域が一つとなって課題解決に取り組みたい**

## 都市計画マスタープランの記載内容

### ① 土地利用の方針 P.94

#### ● 生活拠点形成エリア

・柳谷支所周辺については、地域の生活拠点として日常生活に必要な機能の充実に努めるなど、地域活力及び地域コミュニティの維持を図ります。

### ② 都市施設等の方針 1) 交通施設 P.94

#### ● 主要幹線道路

・四国カルスト道路網を構成する国道440号、（主）野村柳谷線、（主）小田柳谷線、（一）猪伏西谷線、（一）四国カルスト公園縦断線、（一）柳谷美川線、（町）四国カルスト高原線等については、災害時の通行確保や地域間交通の円滑化、周辺観光地へのアクセス性の向上等を図るため、トンネル整備や道路拡幅等の整備を促進及び推進します。

『実現化方策』で記載 P.104

# 実現化方策について



- ▶ 都市計画マスタープランで掲げた方針等の実現に向けて、**今後の取組やまちづくりの進め方、進行管理**について記載

## 実現化方策（第5章）の構成

### 5－1 目指すべき都市像の実現に向けて

- (1) コンパクト・プラス・ネットワークの形成に向けた取組
- (2) 持続可能な都市づくりの推進

### 5－2 今後の都市づくりの進め方

- (1) 多様な主体との協働による取組
- (2) 地区計画制度の活用
- (3) 計画の進行管理

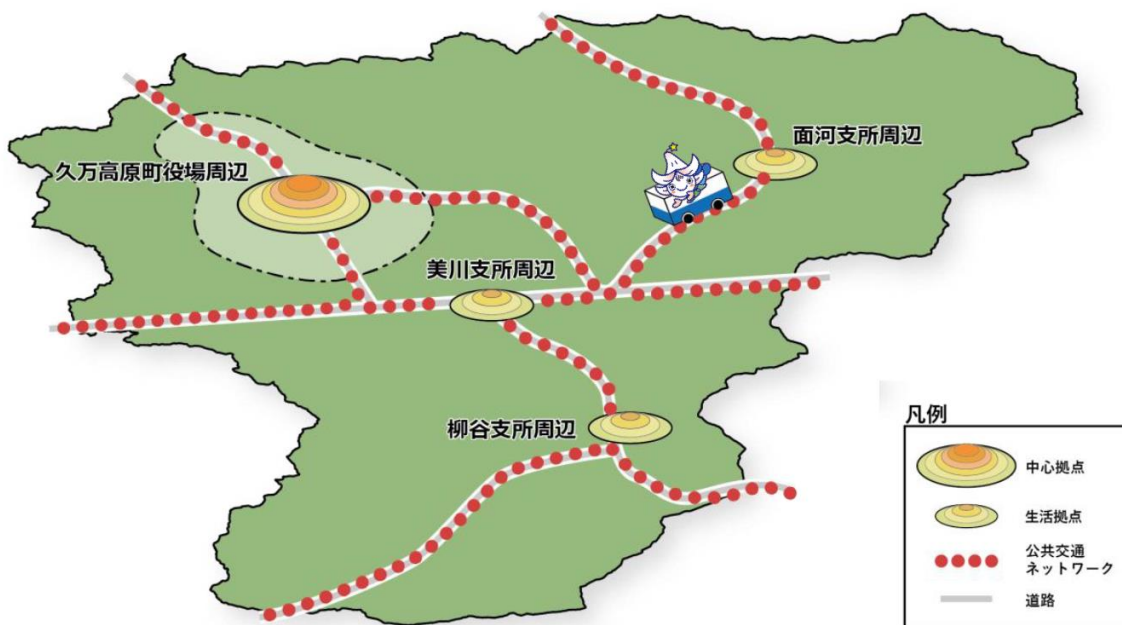
## 5-1 目指すべき都市像の実現に向けて

## ①立地適正化計画との連携

- **久万高原町役場周辺の町中心部等に都市機能および居住の段階的な誘導を推進**することで、まちなかにおける生活利便性の向上やにぎわいの創出を図るため、「久万高原町立地適正化計画」を策定

### ■ ネットワーク化された拠点の形成イメージ

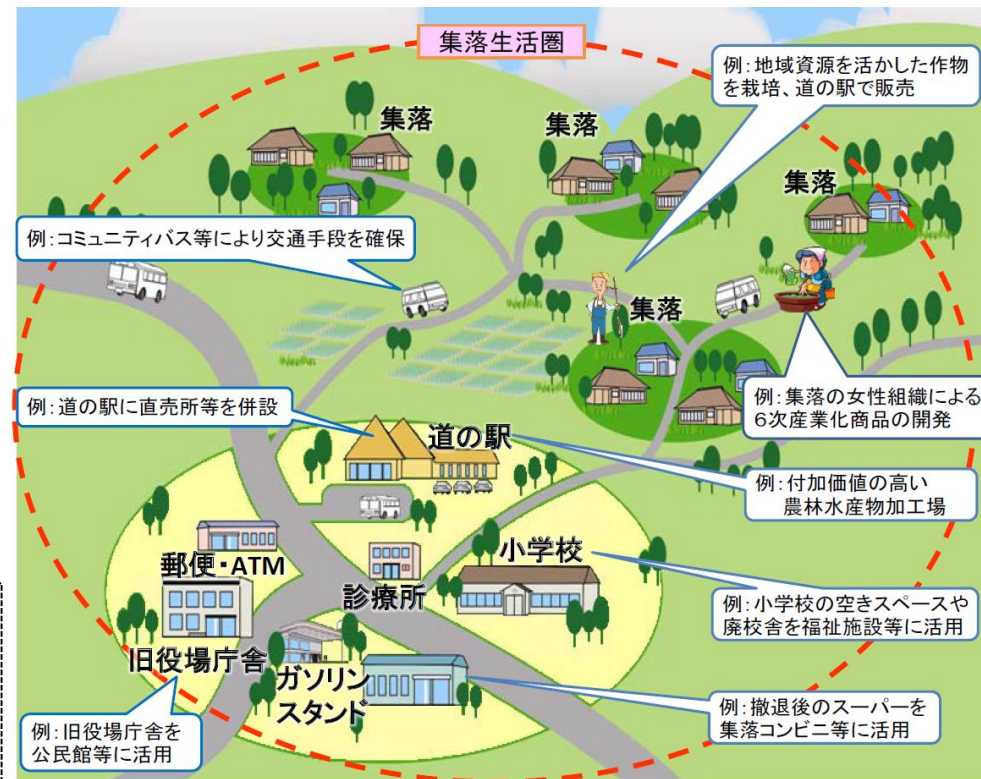
- 今後は、立地適正化計画に位置付けられている誘導施策等により、「**目指すべき都市像**」の実現に向けた都市づくりを推進



## ②小さな拠点づくりの推進

- **都市計画区域外**の地域においては、人口減少の進行が特に顕著であるため、**生活利便施設等の維持が課題**

### ■ 「小さな拠点づくり」の取組イメージ



- 集落生活圏において地域運営協議会が行政や事業者、関係団体等と協力・役割分担をしながら、「**小さな拠点※づくり**」の活用を検討

※『小さな拠点』とは「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく、各種生活支援機能の集約・確保や地域資源を活用したしごと・収入を確保する取組

## ③地域公共交通計画の策定

- コンパクト・プラス・ネットワークの都市づくりを目指すためには、拠点間や拠点と居住をネットワークで結び、移動の利便性を向上させるなど、**公共交通の利便性・効率性の向上を図り、持続可能な移動環境を形成する必要**



- 久万高原町においても、地域公共交通を網羅的に見直し、コンパクトシティの実現に向けたまちづくりと連携しつつ、地域全体を見渡した面的な公共交通ネットワークの方向性を検討するため、**「地域公共交通計画」の作成を推進**

### ■ 地域公共交通の概要

#### 地域公共交通網形成計画(H26改正)

(市町村又は都道府県(市町村と共同)が作成)  
まちづくりと連携した  
地域公共交通ネットワークの形成の促進



#### 地域公共交通計画(今回改正後)

(市町村又は都道府県(市町村と共同)が作成)

まちづくりと連携した  
地域公共交通  
ネットワークの形成



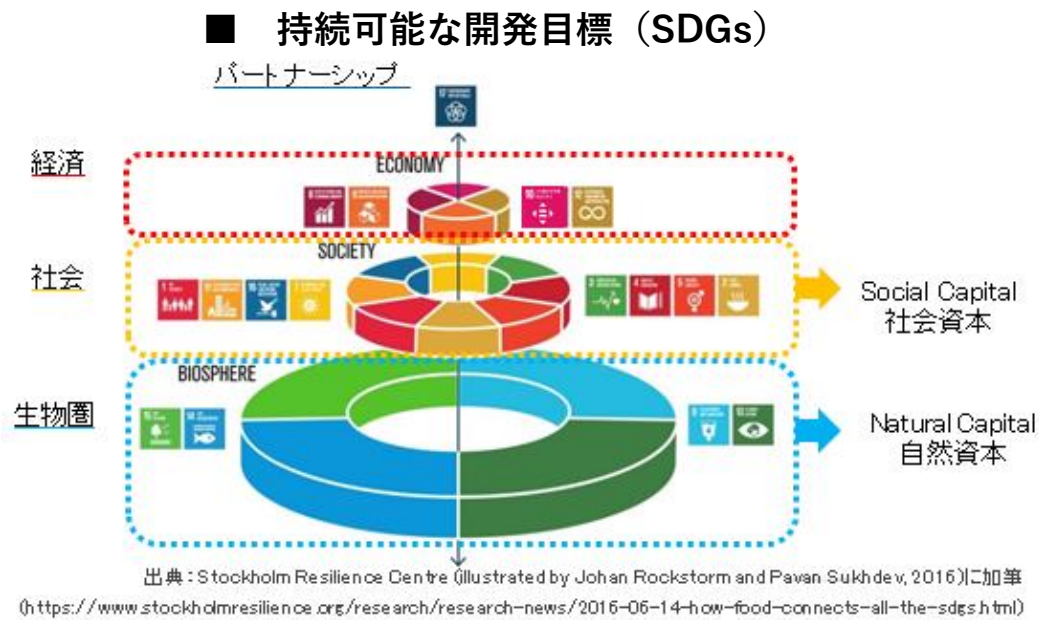
地域における  
輸送資源の総動員

メニューの充実やPDCAの強化により、  
持続可能な旅客運送サービスの提供の確保

## ① SDGs 達成に向けた都市づくり

- 久万高原町は、**雄大な自然環境と共生しながら都市や文化を形成してきたまち**であり、SDGs※の土台となる**自然資本**に恵まれたまち

- 本計画に基づいた適切な土地利用の誘導を図ることで、自然資本を保全するなど、**SDGsの達成に向けた取組と連携し、持続可能な都市づくりを推進**



資料: 農林水産省

※『SDGs』とは

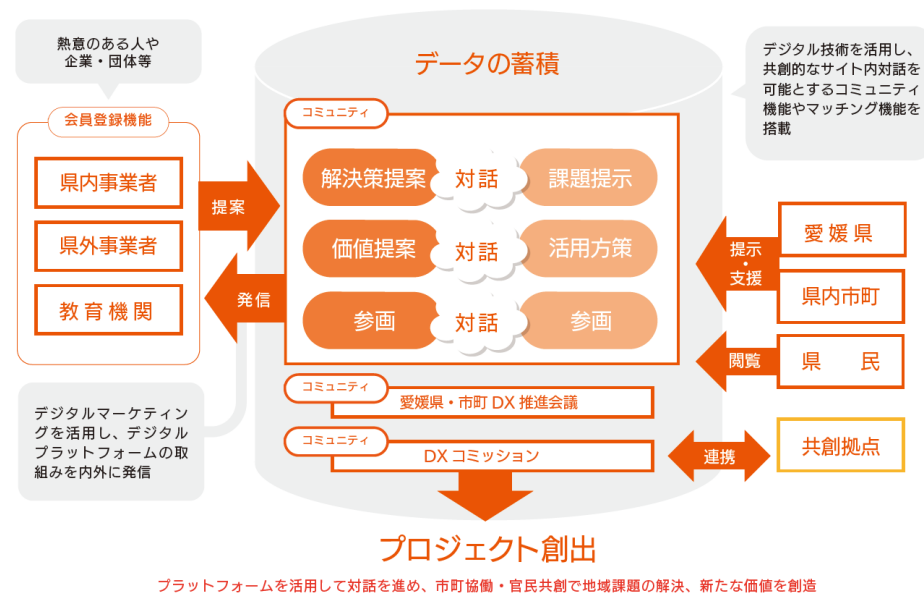
平成27年9月の国連サミットで採択された先進国を含む国際社会全体の開発目標で、持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットで構成

## ②DXの視点を持った都市づくり

- 都市づくりの分野では、公共インフラに係る保守管理の効率化、防災・減災やスムーズな交通の確保など、さまざまな活用手法が講じられている

- 交通事業者等と連携し、**自動運転技術やカーシェアリングの導入**を検討し、通信環境やデジタル機器等を整備した**シェアオフィス・コワーキングスペース**を活用し、関係人口の増加を目指すなど、**DX※の視点を持った都市づくりを推進**

### ■ 愛媛県による「官民共創デジタルプラットフォーム」




資料：愛媛県デジタル総合戦略

※『DX (Digital Transformation)』とは

デジタル技術による社会経済の変革を意味しており、「愛媛県デジタル総合戦略」では「行政や住民・事業者等が、デジタル技術も活用して、住民本位の行政を実現し、地域社会等を再構築するプロセス」と定義

### ③自然環境に配慮した都市づくり

- 久万高原町は、清涼な気候や豊かな自然によって形成される景観、生態系など高原固有の地域資源に恵まれたまち
- 
- 久万高原町は、再生可能エネルギー活用を図りながら、環境と共生したまちづくりを推進する「エコエネルギータウン」として、再生可能エネルギーの普及促進への貢献を積極的に果たすため、**公共施設等の整備・改修と併せた木質バイオマスボイラーによる地域熱利用の導入検討を行う**など、持続可能なまちづくりに資する取組を今後も推進します。
  - また、都市の低炭素化や都市機能の集約など、環境負荷の少ない都市づくりを図ることで「**低炭素まちづくり※**」に向けた取組を推進します

※『低炭素まちづくり』とは

「都市の低炭素化の促進に関する法律（エコまち法）」に基づく、地球環境に優しい暮らしや少子高齢化における暮らしなどの新しい視点を持ち込み、コンパクトなまちづくりの形成を目指した取組



### ④居心地が良く歩きたくなる都市づくり

- 全国的に人口減少や少子高齢化の更なる進行による地域活力の低下が懸念される中、**都市の魅力を向上させ、まちなかに賑わいを創出**することが共通して求められている

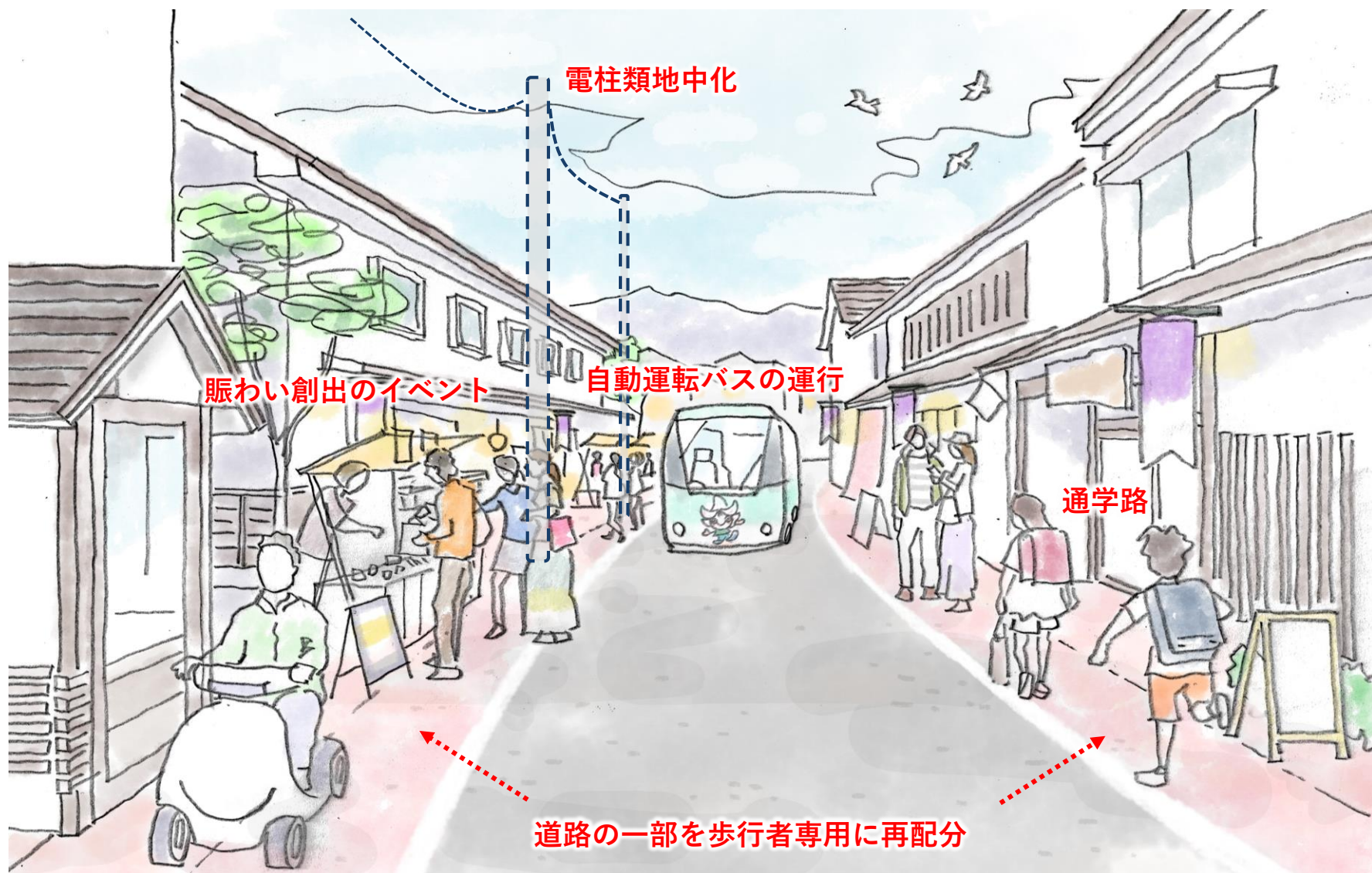


- 現在の車中心から人中心の空間に転換し、「**居心地が良く歩きたくなる**」まちなかの形成を図るため、かつて宿場町として栄えた面影が残る久万街道を対象に、関係団体と連携し、社会実験を実施するなど、**歩行空間の確保や路上駐車・車両速度の改善等を図るとともに、空き店舗を活用した活性化を図る**



久万街道

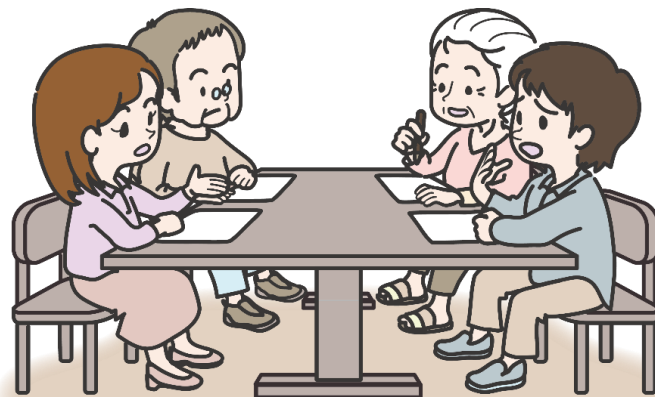
### ④ 居心地が良く歩きたくなる都市づくり (久万街道イメージ図)



## 5-2 今後の都市づくりの進め方

## ① 地域運営協議会との連携

- 久万高原町では、住民による地域運営の在り方を検討し、地域ネットワークの構築や小さな拠点への生活機能集約など、本町の地域コミュニティ機能を維持する取組を推進するため、概ね旧小学校単位を基本とした地域運営協議会が設立
- ▼
- 今後も地域運営協議会と連携し、住民同士で地域活動に関する協議や取組の実施について支援するとともに、設立されていない地区については、住みよい地域コミュニティづくりに向けて自発的・継続的に活動を行うため、設立の支援



## ②地域団体との連携

- **官民協働プラットフォームとして「ゆりラボ」が活動しており、コミュニティナースや起業創業サポート、まちづくり支援などが実施されているほか、久万街道沿道の空き店舗の再生による拠点施設が整備されるなど、多様な取組がされているため、今後も引き続き連携を図ります**
- **また、地域で活動する団体に対する助成を行うなど、エリアマネジメント※活動への支援を検討します**

※『エリアマネジメント』とは

地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるため、住民、事業主、地権者等による主体的な取組



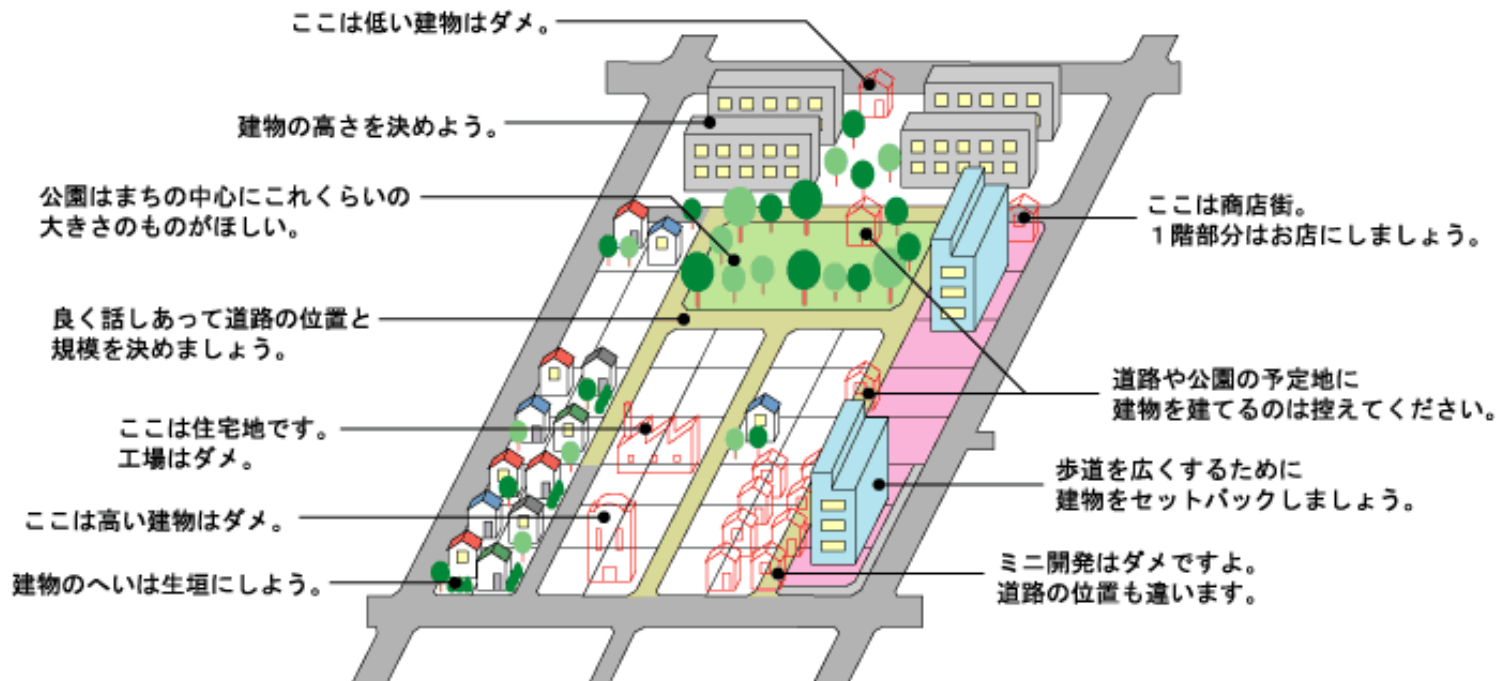
空き店舗の再生したゆりラボ活動拠点

## ③企業・教育機関との連携

- **観光・産業などの地場企業**の活動を把握し、地域のまちづくりとの連携の可能性を探っていくとともに、**地域の大学等の教育機関との協力**の下、まちの賑わい創出や交通利便性の向上に資する社会実験の実施や町民参加のまちづくり活動を支援するなど、様々な取組を推進します

- 美しいまちなみの実現、土地の有効利用の促進など、まちをより住みよく潤いのあるものにしていくためには、**きめ細かなルールを設けることができる地区計画**が有効
- そのため、地区計画制度を活用しながら、特に**地域住民が主体となったきめ細かな計画・ルールづくり**を推進

### ■ 地区計画の活用イメージ



- 計画の進捗については、**PDCAサイクル**（「**Plan**（計画）」「**Do**（実践）」「**Check**（評価）」「**Action**（改善）」を繰り返し、継続的に改善する手法）で進行管理を行うとともに、総合計画等の上位・関連計画との整合を図りながら、計画内容の充実を図る

## ■ PDCAサイクルによる進行簡易と評価の視点

